



市民等の意見の聴取について(素案)

第6回検討会議において委員から多くの提案がなされたため、
座長を中心に委員数名と素案を作成することになりました。

目的とその対象、及び調査方法(第6回までの確認)

1. 市民意識を知る。

東部海浜開発事業の賛否
同事業や環境の価値に対する理解度
同事業に対する不安や期待

一般市民
アンケート ・無作為抽出し郵送
・市役所にて企画展の場で

学生
アンケート ・学校の協力を仰いで配付・回収

中心市街地で商売を営んでいる方
インタビュー ・直接現地にて聞き取り

議会(市民の代表)
ヒヤリング

2. 広報をする。

情報公開
市民参画を促す

6. 泡瀬地区公有水面埋立事業を知る。

埋め立ての根拠
事業の必要性
中部圏域の活性化

国・県
ヒヤリング ・時間を制限しての説明
・質疑応答

3. 沖縄市が持っている以外の情報を収集する。

学術団体
反対している団体
ヒヤリング ・時間を制限しての説明
・質疑応答

5. 市民と行政の連携の具体例を知る。

環境保全にかかわる市民及び行政
ヒヤリング

4. 争点の特定をする。

東部海浜開発事業の賛否の根拠の確認

推進している団体
反対している団体
ヒヤリング・公聴会 ・時間を制限しての説明
・質疑応答

調査の手順について

素案作成



1. 調査の準備

1. 調査目的の明確化

「東部海浜開発事業について、客観的かつ多角的な視点から精査すると共に、公平公正な観点から情報を公開するため、東部海浜開発事業検討会議を設置する」に必要な市民等の意見の聴取。

1)市民の意識を知る。	2)広報をする。	3)沖縄市が持っている以外の情報を収集する。	4)争点の特定をする。	5)市民と行政の連帯の具体例を知る。	6)泡瀬地区公有水面埋立事業を知る。
-------------	----------	------------------------	-------------	--------------------	--------------------

2. 調査項目の検討

項目内容については客観的、多角的、および公平公正であること。また、情報については、公開が目的でありその際、分かり易さも求められる。

3. 調査可能性の確認

調査実施時期の調整、方法の調整

4. 既存資料の活用

国・沖縄県、沖縄市の資料 推進派および反対派の資料 学術団体等の資料
行政手続に関する資料 自前作成資料(これまでの経緯を関係者別・時系列資料)

5. 制約条件の考慮

ヒヤリングについては、議事録を作成し、それを公開。(調査そのものは非公開)
日程が厳しいため、調査ワーキンググループを作り調査。

2. 調査の企画

1. 調査対象の選定

市民(推進派、反対派、地元で清掃活動している人、その他)
国・沖縄県

2. 調査方法の選択

1)市民の意識を知る。	2)広報をする。	3)沖縄市が持っている以外の情報を収集する。	4)争点の特定をする。	5)市民と行政の連帯の具体例を知る。	6)泡瀬地区公有水面埋立事業を知る。
インタビュー式アンケート 郵送によるアンケート		調査WGによるヒヤリング	調査WGによるヒヤリング	調査WGによるヒヤリング	全員参加のヒヤリング
その他(無作為抽出の市民、学生、中心市街地で商売を営んでいる方、議会)		市民(推進派、反対派)		市民 (地元で清掃活動をしている人)	国・沖縄県
(ヒヤリング後再度検討)	(ヒヤリング後再度検討)	素案提示			素案提示

明確な目的が定まらなかったため、また、アンケートには複数の目的を盛り込むことはできないために、素案作成にいたらなかった。再度、検討をしたい。

3. 調査票の作成

1. 質問の作成		
3) 沖縄市が持っている以外の情報を収集する。	市民 (推進派、反対派)	(7ページ) 3-1
4) 争点の特定をする。		
5) 市民と行政の連帯の具体例を知る。	市民 (地元で清掃活動をしている人)	(8ページ) 3-2
6) 泡瀬地区公有水面埋立事業を知る。	国・沖縄県	(9ページ) 3-3
2. 予備調査の必要性		
既存資料の収集と勉強会が必要。		
3. 調査票の作成		
上記までの方向性が決定し、勉強会をした後、作成。		

3-1 質問の作成・・・市民（推進派反対派）

1. 沖縄市の未来像
2. 干潟の定義
3. これまでの経緯や活動内容及び東部海浜開発事業に対して推進する／反対する理由
4. 東部海浜開発事業に対する評価

@推進派	@反対派
①東部海浜開発事業について	①東部海浜開発事業について
②現事業計画の評価について	②国、沖縄県とは異なる調査を行っている理由について(その調査内容と結果)
③出島方式による環境保全の見解	③環境保全と開発についての見解
④中部圏域の活性化についての見解	④中部圏域の活性化についての見解
⑤泡瀬干潟の環境保護のあり方について	⑤泡瀬干潟の環境保護のあり方について
⑥「東部海浜開発の真実」について	⑥「この冊子(人工島事業の理解のために)に対する泡瀬干潟を守る連絡会の問題提起」について
⑦泡瀬干潟の活用方法とその結論の根拠について	⑦泡瀬干潟の活用方法とその結論の根拠について

5. 東部海浜開発事業に関して賛成と反対が続くことについて影響とその解決策について
6. その他

3-2 質問の作成・・・市民(地元で清掃活動をしている方)

1. 沖縄市の未来像
2. 干潟の定義
3. これまでの活動内容及び今後の予定
4. 東部海浜開発事業の理解度について
5. その他

案

3-3 質問の作成・・・国・沖縄県

1. 沖縄市の未来像
2. 干潟の定義
3. 東部海浜開発事業について国・沖縄県の関わり方について
4. 泡瀬地区公有水面埋立事業について
 - ① 目的・必要性について
 - ② 規模の決定・場所の選定について
 - ③ 沖縄市が東部海浜開発事業を中止した場合の影響について
 - ④ その他